



山梨にある“はなの森”で子どもたちと一緒に森づくり

団体概要

環境に関わる様々なリレーションシップを繋ぐことにより、環境問題をもっと身近に、気軽に参加できる「環境ムーブメント」として、人、環境、社会を繋ぐ。それが私たちの使命です。その主軸となるプロジェクトがPresent Tree。贈る人も受け取る人も幸せな気持ちになり、誰もが10年間一緒に生長を見守ることが出来ます。長期にわたるこうした活動に参加する人を増やすことで、人と自然が共存可能な社会の実現を目指しています。

- ・設立年:1999年
- ・連絡先:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14  
ウキガイビル5階  
TEL:03-5283-8143 FAX:03-3296-8656  
E-mail:information@env-r.com
- ・URL:http://www.env-r.com/  
Present Tree公式HP https://www.presenttree.jp/

●地域特性を活かす多様な森づくり

大切な人や未来の地球への贈り物として、植えた樹の里親の権利をプレゼントするPresent Treeは、2005年1月にスタートしてから、2012年1月で丸7年が経過しました。この間、国内16カ所において、約183万人の方々の直接・間接的なご支援により6万8883本の苗木を植えることができました。

各地では、地域の特性を活かし生態系の攪乱を防ぐため、元々その地に自生していた種類を中心に、将来的に豊かな森林の樹相を形成しうる樹種を地元の専門家とともに選択し、植林しています。例えば、北海道雨竜郡にある北海道大学雨龍研究林で

実施しているPresent Treeでは、台風で倒木被害を受けた森林を被災前の姿に近い生物多様性豊かな針広混交林へと再生させるため、アカエゾマツを植えています。何年か後に自然に芽生えてくるシラカバなどの広葉樹と一緒にアカエゾマツを育成し、将来的に針広混交林が形成されることを期待しています。

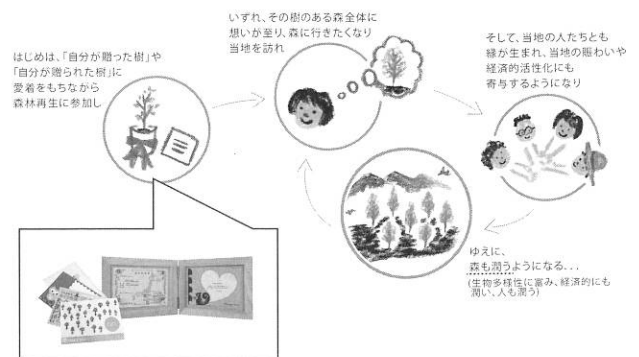
その他、山梨では「人が楽しめる森づくり」、新潟では「トキの羽ばたく森づくり」、岐阜では「水を育む森づくり」、南九州では「荒廃地に命を戻す森づくり」など、各地で様々な課題に取り組む森づくりを行っています。

●森から学び、森へ還す、森林循環

Present Treeの特徴は、“プレゼント”というごく日常的な行動と“生物多様性”という一般消費者にとっては非日常的な言葉を、“森林”をテーマに結びつけていることです。具体的には、①はじめは「自分が贈った樹」や「自分がプレゼントされた樹」に愛着を持ち、②いずれその樹のある森全体に想いが至り、その森に行きたくなって当地を訪れ、③そしてその地域の人たちとも縁が生まれ、地域の賑わいや経済的活性化にも寄与するようになり、④ゆえに森も潤い生物多様性にもつながる、といったように、“プレゼント”からはじまった連鎖が生物多様性にも結びついていきます。

このような活動を当NPOでは“森林循環”と言い、この循環を促す活動の一環として森からの学びを得る機会を提供してきました。従来は植樹作業など自然体験メニューが中心でしたが、最近では子どもを対象に楽しめるアートワークショップなどを導入し、今まで“環境保全”や“自然保護”というキーワードや“植

樹”という直接的な環境活動への呼びかけでは訴求しきれいなかった人々へも届くよう、角度の違った入口から環境貢献活動への参加を促す取り組みも始めています。



Present Treeのめざす森林循環

# グリーンウェイブ ガイドブック



～子どもたちが「自然の恵み」とともにある暮らしを楽しみ  
感謝できる大人に育っていくことを願って～

